

うたさかりにもてとやされしより、世にかくれたる事久しく、天曆に梨壺の人よみ解し
 後も、ひろくもちぬられざりしにやと見ゆるを、それより三も、年を経て寛元のころに
 仙覺律師ひとり此集をこれかれとりなしつるより後、また四も、まじり五十年ばかりをへて
 羅波の沙門契沖の代匠記をかきしまで、其間の人々いかでよくもわきまへざりしにや、此
 集の今まで傳はれるはあろそけにも仙覺のたまものやいふべからむ、それが中の古きこ
 とばをたどりわきまふべきみちのしをりせしと契沖のいさはしなりけり、されど猶芳野山
 の花はあくかを見つくす事やすからねば、麓山ノボリの木の下に日くれにたるを、又其比しも荷
 田のうしは、かたみにあひとはぬきのから、おなじすぢに千代の古道ノボリたえたるあどをはり
 岩ざりとほしかたさをひらきて、かしの實のひとりだちたる人なりけり、されど猶いたら
 ずとして、たゞよろづに逢アホてうごくまじきころことばを口づからのみ傳へて、ふみには
 あらはさアホりしを、縣王にいたりて、又はしめて明らかめ得たることにえさになんある、常
 に友がきにかたらく、古への一ことは後の百言モ、コトにわかれたれば、古への一言を得ては後
 の百言をしるべし、おほみ國のいにしへのふみはいとさはならねど、よくよまん人はよろ

づにわたりにてまどふ事あらじ、ひとへにからのふみをしも見なれたる癖クセをわすれて、やま
 と手ぶりの天ソラつちのまにノまふけすしひず、やすくすなほなりし古へにかへして、よく
 みるべかりけり、こゝに歌てふものばかり、萬代ふれどもよみ人のころもことばもまた
 く傳はれるものなんある、いにしへの人のよくよめる歌を、年月にをこたらずとなへわぢ
 はへて、おのれもさる心をこひつゝよみならはじ、雲のなす遠き世のふみのころばへを
 も、すみのほる日月のごとくはがらに思ひ得べき事也とぞ、いにしへをたゞやすらかにみ
 やびたるより外のころしなればなり、さる故よしを友がきに傳へむとて、古事記と萬
 葉集のをちノをことわるに、橋の蔭ふむ道八ちまたにわかれ、あしべ行浦のしほがによ
 こさりなんこともこそとて、ことさらに此かうむり辭をぬきてたる也、其ことわれるさま、
 こゝろを得たるをばへつらはすゆづらす人にくげなれど、たゞいにしへにくはしからんを
 心とし、ことにつけてわたくしなからまくつとめたるなり、こはわがともがらいく百年か
 わやまりきたれるにならひて、しづの續麻ウツマのみだれがちに、いとをらわきまへあへぬがた
 めにはげませる也、それが中にはまがれるをためてなほきにすきぬるにやともしふべきと

ころくなきにしむらねば、これかれにつきてそしる人おほかりなん、只こころをうら
安々にの千歳の先にめくらして、古へをしのぶ人しあらば、そのつとめたるいさほしを
めらめやは、

寶曆七のとし八月

たちはなの枝直しるす

1/5/36

明治二十七年五月十八日印刷
明治二十七年五月廿三日發行

(定價金廿五錢)

大阪交盛館藏版

著者 加茂真淵

故人

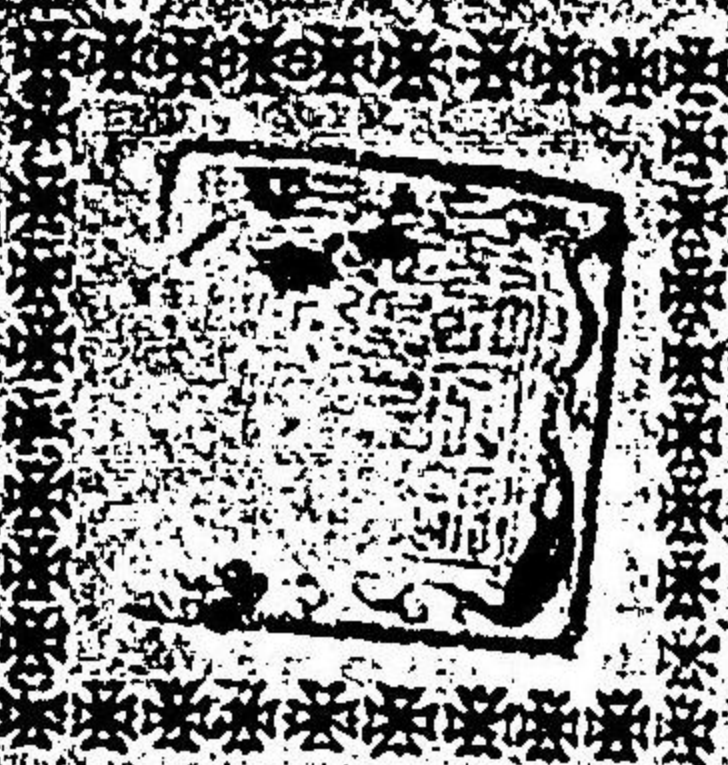
發行者 武田福藏

大阪市東區南久太郎町四丁目八十六番屋敷

印刷者 前野茂久次

大阪市東區和泉町三丁目八番屋敷

前野活版所



ころくなきにしもわらねは、これかれにつきてそしる人おほかりなん、只ころをうら
安ぐにの千歳の先にめくらして、古へをしのふ人しわらば、そのつどりたるいさほしとめ
でさるやは、

・ 寶曆七のとし八月

たちはなの枝直しるす

明治二十七年五月十八日印刷
明治二十七年五月廿二日發行

〔定價金廿五錢〕

大阪交盛館藏版

故人

著者 加茂真淵

大阪市東區南久太郎町四丁目八十六番屋敷

發行者 武田福藏

大阪市東區和泉町二丁目八番屋敷

前野活版所

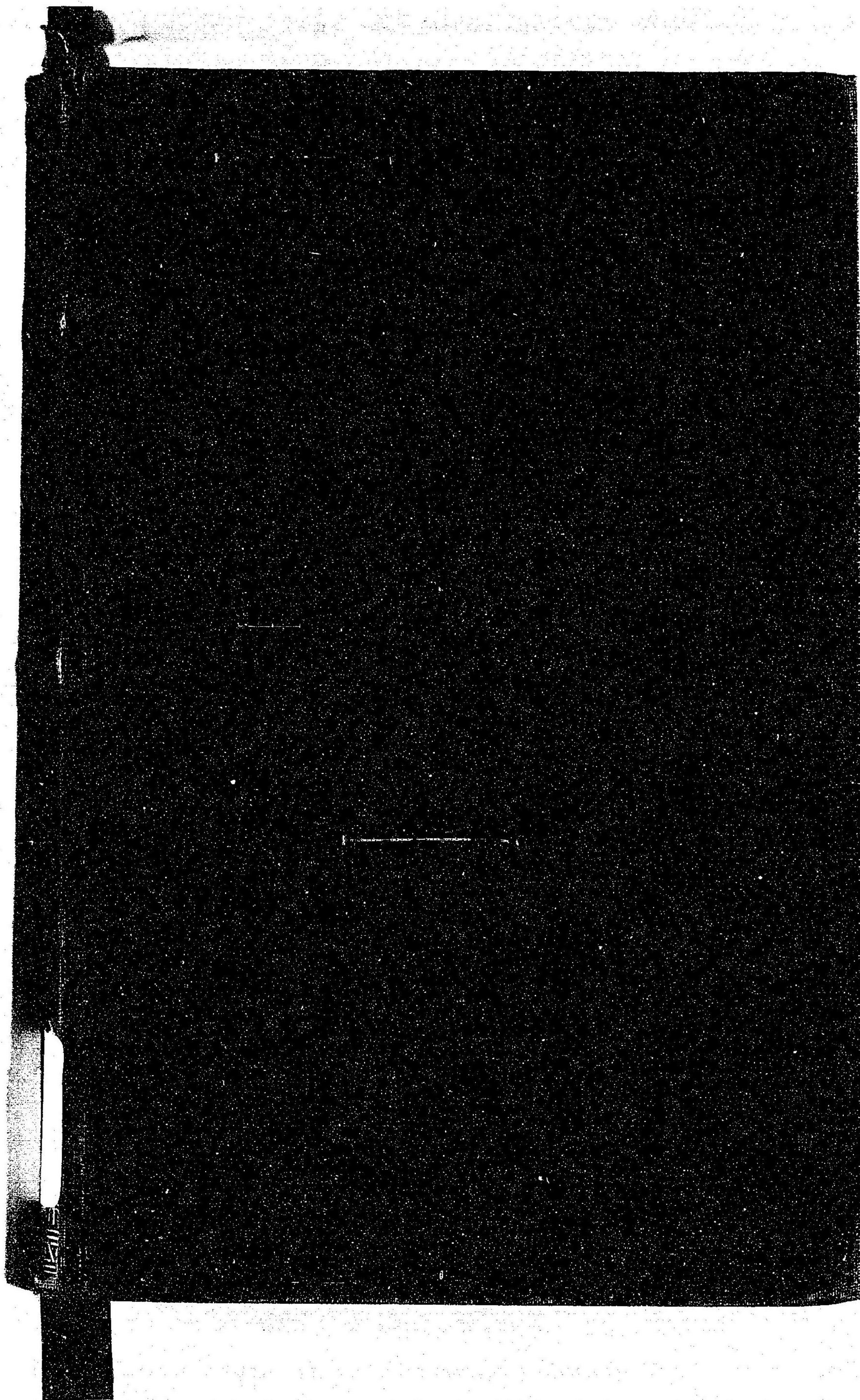
印刷者 前野茂久次



大坂交盛館發兌圖書大賣捌所

全	大阪市東區淡路町二丁目三十八番屋敷	金	川	善	兵	衛
全	東區淡路町二丁目	北	島	長	吉	
全	東區備後町四丁目七十八番屋敷	吉	岡	平	助	
全	東區備後町五丁目	盛	文	館	館	
全	東區安土町四丁目卅八番屋敷	積	善	館		
全	東區北久太郎町百廿八番屋敷	岡	本	仙	助	
全	南區末吉橋通四丁目八十九番屋敷	中	村	芳	松	
全	南區鹽町三丁目四番屋敷	岡	本	支	店	
全	神戸市元町通五丁目	吉	岡	支	店	
全	福岡市博多中島町	積	善	館	支	店
全	廣島市革屋町	積	善	館	支	店
全	愛媛縣西條町	金	川	支	店	

72
2
91



72

71

